

## 教室活動のデザインⅢ



いつもの教室・教科書で、学習者は主体的に学んでいるでしょうか。もしそれが難しいとしたら、教師は何ができるでしょうか。教室で、社会で、主体的に考え、学ぶ学習者を育てる教室活動のデザインの理論と実践を紹介し、参加者の皆さんといっしょに体験します。

◆日時：2010年2月13日（土）9：45～17：15

9:45-10:00	開会
10:00-13:00	【講座1】「形成的フィードバック—中級会話を例に—」 ボイクマン総子（筑波大学 非常勤講師）
13:00-14:00	昼食休憩
14:00-17:00	【講座2】「社会とのつながりを重視した初級の教材作成」 齋藤伸子（桜美林大学 准教授）
17:00-17:15	閉会

◆各講座の目標と主な内容：

【講座1】「形成的フィードバック—中級会話を例に—」（10：00-13：00）

目標	中級会話の授業を例に、以下の点を中心に「形成的フィードバック」についての知識を深め、教室活動をどうデザインするかを共に考えます。 (1) 学習者が問題に気づき、自ら修正していくことを目指す教師のフィードバック (2) 学習者がフィードバックに参加できるような工夫
内容	①講義「言語教育におけるフィードバック」 ②効果的なフィードバックとは何かについて話し合う。 ③講義「形成的フィードバック」 ④中級会話の実践例を基に、形成的フィードバックのデザインについて話し合う。

【講座2】「社会とのつながりを重視した初級の教材作成」（14：00-17：00）

目標	初級の文型中心の授業においても、内容や場面を学習者に身近で社会的な内容とすることにより、以下のようなコンセプトの教室活動を工夫します。 (1) 言葉の役割は、自己表現、社会とのつながりにある (2) 学習者は、学習の場でも大人であり社会人である
内容	① 講義「初級教材で扱われるトピックについて」 ② 事前課題の結果を整理して発表する（メイン教材以外の教室活動の工夫） ③ 講義「教材作成のヒント—『モンゴルの風』を例に—」 ④ グループ活動「教材の作成」 ⑤ グループごとに、出来上がった教材を発表して成果をシェアする。

- ◆**会場**：桜美林大学四谷キャンパス 4階 (Y406) <http://www.obirin.ac.jp/001/a028.html>  
〒160-0004 東京都新宿区四谷 1-21 JR・東京メトロ丸ノ内線・南北線四ツ谷駅より徒歩3分
- ◆**定員**：各講座30名
- ◆**対象**：成人を対象とする日本語教育に携わっている方、または過去に経験を有する方も可。
- ◆**受講料**：1講座につき 会員2,000円、一般2,500円、学生1,500円  
※団体会員、賛助会員の会員適用価格は1団体1名様までとさせていただきますので、ご了承ください。  
※応募書類受領後に振込先口座番号等をお知らせします。なお、一旦払い込まれた受講料の返金には応じかねます。
- ◆**申込締切**：2010年1月29日(金) ※定員に達した場合締切日以前でも募集を終了します。
- ◆**申込方法**：申込書ダウンロードはこちら→ [ワード](#) [PDF](#)
- 参加申込書を上記からダウンロードして、Eメール添付、FAXのいずれかの方法で日本語教育学会事務局まで送付してください。申込書到着後、折り返し、受講料振込み口座等をEメールにてご連絡いたします。参加申込書を送って1週間以上たっても何も連絡がない場合は、書類未着の可能性がございますのでお手数ですが再度ご連絡ください。Eメールで応募する場合、メールタイトルは「教室活動(2月13日)申込」としてください。講座2には事前課題があります。課題の詳細は、上記サイトをご覧ください。尚、講座2の事前課題は「参加申込書」と同時にお送りください。
- ※応募書類は返却いたしません。また、この募集に関して集めた個人情報は本研修の実施以外の目的には使用いたしません。
- ◆**送付先と問合せ**：(社)日本語教育学会 教師研修委員会事務局  
〒101-0065 東京都千代田区西神田 2-4-1 東方学会新館2F  
TEL:03-3262-4291 FAX:03-5216-7552 Eメール:kyoshikenshu@nkg.or.jp